



20/21年度の期末在庫、大豆は予想を上回る、コーンは予想を下回る

◆米農務省需給報告

○米国大豆

	※※2020-2021年度※※		※※2019-2020年度※※	
	<今月予想>	<前回予想>	<今月予想>	<前回予想>
期初在庫	620	585	909	909
生産	4,135	4,125	3,552	3,552
輸入	15	15	15	15
・供給合計	4,770	4,725	4,476	4,476
圧砕	2,160	2,145	2,155	2,140
輸出	2,050	2,050	1,650	1,650
種用	100	100	97	97
その他	35	35	-45	4
・需要合計	4,345	4,330	3,857	3,891
期末在庫	425	395	620	585
在庫率	9.8%	9.1%	16.1%	15.0%
作付面積	83.8	83.5	76.1	76.1
収穫面積	83	82.8	75	75
イールド	49.8	49.8	47.4	47.4

○米国トウモロコシ

	※※2020-2021年度※※		※※2019-2020年度※※	
	<今月予想>	<前回予想>	<今月予想>	<前回予想>
期初在庫	2,248	2,103	2,221	2,221
生産	15,000	15,995	13,617	13,617
輸入	25	25	45	45
・供給合計	17,273	18,123	15,883	15,883
飼料用	5,850	6,050	5,600	5,700
食品・工業用等	6,625	6,600	6,260	6,305
内エタノール	5,200	5,200	4,850	4,900
・国内消費合計	12,475	12,650	11,860	12,005
輸出	2,150	2,150	1,775	1,775
・需要合計	14,625	14,800	13,635	13,780
期末在庫	2,648	3,323	2,248	2,103
在庫率	18.1%	22.5%	16.5%	15.3%
作付面積	92	97	89.7	89.7
収穫面積	84	89.6	81.3	81.3
イールド	178.5	178.5	167.4	167.4

(単位:100万ブッシェル、面積:100万エーカー、イールド:エーカー当たりブッシェル)

○20-21年度の期末在庫の事前予想平均値 (単位:100万ブッシェル)

大豆	416
トウモロコシ	2683

第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

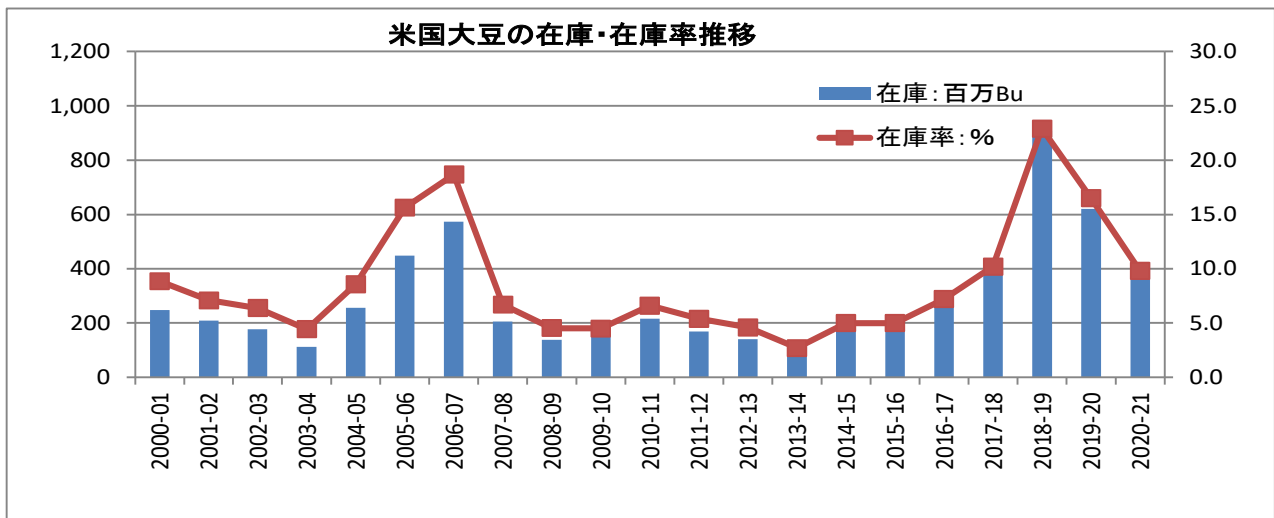
このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口 (東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。

7月10日に米農務省から発表された需給報告では、2020-21年度の米国産大豆の期末在庫が事前予想を上回る一方、米国トウモロコシの期末在庫が事前予想を下回った。ただ、相場へのインパクトは乏しく、10日のシカゴ市場では、大豆・トウモロコシとも米産地の降雨予報を嫌気して反落して引けた。

○米国大豆

2020-21年度の期末在庫は、前月比3000万ブッシェル増の4億2500万ブッシェル。事前予想の4億1600万ブッシェルをやや上回った。

供給側は、収穫面積を引き上げたことで、生産高を1000万ブッシェル上方修正。期初在庫も3500万ブッシェル引き上げた。需要側は、圧砕を1500万ブッシェル上方修正。期末在庫率は9.8%で前月の9.1%から上昇した。



○米国トウモロコシ

2020-21年度の期末在庫は、前月比6億7500万ブッシェル減の26億4800万ブッシェル。事前予想の26億8300万ブッシェルを下回った。

供給側では、6月末の作付面積報告を踏まえて収穫面積を引き下げたことで、生産高を9億9500万ブッシェル下方修正。一方、期初在庫は1億4500万ブッシェル引き上げた。需要側は飼料用を2億ブッシェル下方修正する一方、食品・工業用等を2500万ブッシェル上方修正。期末在庫率は18.1%で前月の22.5%から低下した。

